



中央児童相談所

川本 綸子

平成30年度入庁

心理

Q 1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

児童相談所で児童心理司として、子どもに関する相談に応じたり、子どもの心理アセスメントを行っています。子どもの状態を心理検査や面接を通じて把握し、その子や家庭に必要な支援を考えます。

支援を通じて子どもが自分の持っている力を発揮し、成長していく姿を見届けられるところがこの仕事の魅力であり、その姿は心に残ります。その子にとって1番良い方法を模索することは、とてもやりがいがあり責任の重い仕事だと思います。

Q 2 千葉県を志望した理由を教えてください。

生まれも育ちも千葉県だったため、地元で貢献したいと思い志望しました。

また、県として児童相談所の職員を大幅に増員し、児童相談所の体制の強化を図っていることもあり、自分の力を千葉県のために発揮したいと思ったこともきっかけです。

Q 3 「心理職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

仕事をする上では、様々な研修に参加して知識を増やし、土台を作ることは大切だと思います。その上で、子どもたちは一人一人違うことを念頭に置き、最善の支援策を見つけていくことを心がけています。また、困った時には同期と話したり、経験豊富な先輩方に相談したりしています。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

まだまだ模索中ではありますが、自分なりの理想とする職員像を見つけていきたいと思っています。子どもにとって、関わる大人の存在はとても大きいです。視野を広く持ち、子どもに寄り添いたいと思っています。

また、子どもにとって最善な選択をできるようにし、その子の将来まで見据えていけるような仕事がしたいです。

Q 5 受験生へ一言

仕事に悩むことはたくさんありますが、先輩方や同僚が寄り添い、力になってくれます。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



異動経歴

H30年採用 中央児童相談所

